



THE LETTER 宇都宮東教室

発刊日 2025 年 10 月 7 日

第 6 号 図形

文責 熊澤洋一

「図形」・・・実に苦手と答える生徒の多いこと。

小学校の算数で登場する「図形」問題。三角形、四角形、円の「角度、面積、長さ・・・」などを求める。問われ方も「⑦の角度を求めろ」のように短文問題が多く、「知ってる、知らない」の暗記問題ではないため、「その場で考える」・「一発系問題」であるためか、比較的女子生徒が苦手とする単元とも言われる。実際、中 2・中 3 と学年が進むほどに「図形問題は・・・」という女子生徒は多い。一方、こういうのが「好き」、「得意」なのは男子に多い傾向です。早い段階で「高専」・「工業高校」を志望する生徒に男子が多いのも納得できます。

三角形の面積の求め方は、「底辺×高さ÷2」と知っていても、それが求め方の「全て」ではありません。が、「他にあるの？」って反応する生徒は多いです。教科書の問題、ドリルの問題で「どうぞ、底辺×高さ÷2」をしてくださいと「お膳立てされた問題」だけ練習すると、「その問題にしか対応できなく」なりかねません。また、「角度を求めよう」的な問題には「補助線」を引くと・・・なんと「正三角形が出現する」など、良問ほど「しかけ」が隠れていたりします。ですから、「なるほど」、「おっ、すげ〜」、「見えた！」など達成感が味わえるのも「図形問題」の特長かもしれません。中 1 の「平面図形から苦戦し始めることがないよう」、また「物事を多面的に見られるよう」多種多様な問題に挑戦してみましょう。早めの対策が功を奏します。変に方程式っぽい問題や、文章量が多く理屈っぽい問題よりは「気軽に取り組める単元」ではと考えます。

10 月 13 日（月・祝）10：00-17：00 で「小 6 図形特訓」勉強会が開催されるので気になった方はご連絡下さい。

